

年	組	名前
---	---	----

佐伯市上堅田小学校の4年生は、大越川で佐伯の伝統漁法「アユのちよん掛け」を体験しました。

①「ちよん掛け」とは
どういった漁法でしょう。

.....
.....
.....
.....

②アユの生態を調べてみよう。

.....
.....
.....
.....

伝統漁法を体験 佐伯・上堅田小

佐伯市上堅田小学校の4年生は23日、市内長谷の大越川で佐伯の伝統漁法「アユのちよん掛け」を体験した。



竹ざおを手に川に入ってアユを探す児童＝23日、佐伯市長谷

針でアユを「ちよん」

4年生46人は1学期に堅田川漁協の川野正二組合長を招いて大越川について学習しており、今回もその一環。児童のほか、川野組合長ら漁協や地元関係者5人が参加した。ちよん掛けは建網に追い込んだアユを竹ざおの先に付けた針に引っ掛けて捕る佐伯独自の漁法。この日は網の中にあらかじめ体長約20センチのアユを用意しており、川に入った児童は水面に顔を漬けてアユを探し、狙いを定めて竹ざおを引いた。ほとんどの児童が初体験で簡単に捕れなかったが、針にアユが引っ掛かると「やった」「うれしい」と歓声を上げていた。川遊びをした後、焼いたアユをおいしそうに味わった。

(2013年7月24日朝刊14面)

③アユの漁の仕方はほかにもあります。大分県内で行われている方法を調べてみよう。生態にも関係することが分かるかな？

.....
.....
.....
.....